

1. 件名 : 原子力事業者が実施する令和2年度事業者防災訓練の実施計画の確認
について

2. 日時 : 令和2年9月15日(火) 16:00~17:05

3. 場所 : 六ヶ所オフサイトセンター 休憩室

4. 出席者

- (1) 原子力規制庁六ヶ所原子力規制事務所
宮本副所長、関原子力運転検査官、森原子力防災専門官
- (2) 公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センター
安全管理課長代理 他1名

5. 要旨

公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センター(以下「保障措置センター」という。)事業者防災業務計画に基づき保障措置センターが実施する令和2年度事業者防災訓練について、保障措置センター安全管理課担当者から実施計画概要の説明を受け、原子力規制庁から以下のとおり確認・要望等を行った。

- (1) 前年度の訓練の課題に対する改善状況を踏まえた訓練であるか確認したところ、そのとおりであるとの回答を得た。
- (2) コロナウイルス対策について確認したところ、マスク着用、換気対策等を講じて訓練参加人数を縮小することなく訓練を実施するとの回答を得た。
- (3) 事業者側訓練評価の客観性について確認したところ、他事業者の評価者を含めるかどうかについて検討するとの回答を得た。
- (4) 非現実的なシナリオを回避する方策について確認したところ、来年度以降の訓練に反映するとの回答を得た。
- (5) 火災発生時の対応について、日本原燃株式会社から通報連絡がくるような設定も考慮するよう提案した。
- (6) モニタリングポスト $1\mu\text{Sv/h}$ 以上を確認した場合の対応について確認したところ、中性子線を計測する状況付与を用意し、合計値を評価するとの回答を得た。
- (7) 負傷者の程度について確認したところ、自力歩行不可・汚染なしの想定であるとの回答を得た。
- (8) 事業者防災訓練実施までの要素訓練予定について確認したところ、一部訓練は9月から実施予定であるとの回答を得た。
- (9) 訓練視察員の受け入れについて積極的に他事業者へ声かけするよう提案した。

- (10) 模擬記者会見について確認したところ、質疑応答も含めて実施するとの回答を得た。
- (11) ERC(緊急時対応センター) 備え付け資料の更新について確認したところ、要素訓練の結果を踏まえ最新のものを2部、事業者防災訓練までに備え付けることを確認した。
- (12) 防災管理者、ERC 対応者が対応できない場合を想定した代行者に対する訓練を今後検討するよう提案した。

6. その他 :

配付資料なし